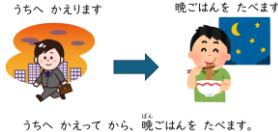
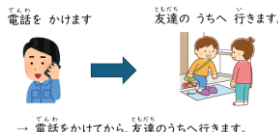
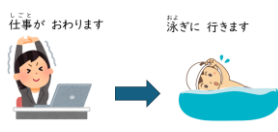


【教案参考】

日付：	時間：30 分	クラス：	担当者：濱田 尚樹
学習項目：文型 2. V て形から、～			
学習目標（Can-do）：・日常生活の行動を順を追って話せる。			
時間	学習項目・内容	教材・教具	備考・メモ
4 分	文型 2. V1 て形から、V2（動作の前後関係） 2 つの動作の前後関係（動作 2 が動作 1 の後に行われること）を示す。 【導入】 T（教師）：皆さん、こんにちは。元気ですか （挨拶は短く） S（学生）：元気です。 T：いいですね※ <一人二役> A：仕事が終わって、うちへ帰ります。 すぐに晩ごはんを食べますか？（ごはんを食べる） シャワー浴びますか？（シャワーを浴びる）。 わたしはシャワーを浴びます。それからごはんを たべます。シャワーを浴びてから、ごはんを食べ ます。B さんは、どうですか？ B：わたしはすぐにごはんを食べます。それか ら、シャワーを浴びます。 T：（生徒に確認） ごはんを食べる。シャワーを浴びる。「どちらが 先ですか。」 S：私は・・・ T：日本語を勉強してから日本に来ましたか？ T：日本に来てから、日本語を勉強しましたか？ S：私は・・・	絵教材  ごはんを食べる  シャワーを浴びる  	・「V1 て、V2 て」と の違い（前者が終わ ってから後者をす る）を明確にする。 ・「てから」の中の 主語は「が」で示 す。 2 枚の絵カードを提示 し、「どちらが先で すか。」と学習者に 問いかけながら導 入。
4 分	今日の文型提示 V1 て形から、V2（動作の前後関係） 「板書を見ながら」 T：動作 1 をします。動作 2 をします。動作 1 と 動作 2 を合わせます。動作 1 をしてから動作 2 を します。といいます。 例えば①毎日ごはんを食べます。薬を飲みます。 合わせると、毎日ご飯を食べてから薬を飲みま す。といいます。 ②手を洗います。ご飯を食べます。合わせると手 を洗ってから、ご飯を食べます。といいます。	板書 【文型2】～てから、～ 【意味】動作1 をしてから、動作2 をします。 【例文】① 毎日 ご飯を 食べてから、薬を 飲みます。 ② 手を 洗ってから、ご飯を 食べます。 【ポイント】前半の動詞はすべて「て形」にする ・「V1 てから、V2」＝ V1 のあとで、V2 をする 	

	例文をみんなで言います。		
	【練習】 ・練習 A2、B3、B4		
4 分	練習 A2 後件の動作が前件の動作の後に行われることを述べる練習 うちへかえってから、晩ごはんをたべます。 電話をかけて、友だちの うちに行きます。 仕事が終わって 泳ぎにいきました。	うちへ かえります 晩ごはんを たべます  うちへ かえって から、晩ごはんを たべます。 電話を かけます 友達の うちへ 行きます。  → 電話をかけてから、友達のうちへ行きます。 仕事が終わります 泳ぎに 行きます  → 仕事が終わって 泳ぎに 行きました。	
5 分	練習 B3 [導入] 二つの文を「～てから」を使ってつなぐ練習。文末が時制を表す。初めの文の動詞の形に惑わされないように。「～てから」の復習 練習に入る前に、「V1 てから、V2」の形と意味を簡単に確認する。 ・「V1 て、V2 て」との違い (V1 が終わってから V2 をするという明確な前後関係) を意識させる 与えられた 2 つの文を「～てから」を使って 1 つの文にするドリル練習。 T: 仕事が終わります。飲みに行きます。仕事が…? S: 仕事が終わってから、飲みに行きます。 黒板、または基本となる絵カード ● 例題の提示 T: 電話をかけます。友達のうちへ行きます。 S: 電話をかけてから、友達のうちへ行きます。 ● 1)～4) の実施	※必要に応じて各問題の状況を示す絵カード 2) きのう 仕事が 終わりました・ 飲みに行きました  → きのう 仕事が 終わってから 飲みに行きました 例: 電話を かけます・ 友達の うちへ 行きます  → 電話をかけてから、友達のうちへ行きます。 1) お金を下ろします・ 買い物に行きます  → お金を下ろして から 買い物に行きます 3) 日本へ 来ました・ 日本語の 勉強 を 始めました  → 日本へ 来てから 日本語の 勉強 を 始めました	【重要】時制への注意 時制は文末によって決まることを強調する。 2) 「きのう…」、3) 「日本へ来ました」のように過去の出来事でも、前半の動詞は「て形」のままであること(初めの文の動詞の形に惑わされないこと)に注意させる 練習 B3 では**「前件の動詞を正しく『て形』に変換できるか」と「過去の出来事でも前件は『て形』になること」の理解が肝。

	Tがキュー（2つの文）を出し、Sに答えさせる。 全体でコーラスしたあと、個人（指名）で確認する。 1)お金を下ろします・買い物に行きます→ 2)きのう 仕事が 終わりました・飲みに行きました → 3)日本へ 来ました・日本語の 勉強 を 始めました → 4) お金を 入れます・ボタンを 押して ください →	4) お金を 入れます・ボタンを 押してください  → お金を 入れてから ボタンを 押してください	
5 分	練習 B4 【導入】「もう～ましたか」の応答 練習 B4に入る前に、状況を設定して応答の形を導入する。 T: (時計を見ながら) もう昼ごはんを食べましたか? S: いいえ、まだです。 T: (「仕事が終わります」のカードを見せて) この仕事が終わります。それから、食べます。 →「いいえ、まだです。この仕事が終わってから、食べます。」	時間を示す時計の絵、仕事や食事の絵カード 	「いいえ、まだです。～てから、～ます」というセットの形を口慣らしさせる。
4 分	【練習 B4】質問に対する応答練習 「もう～ましたか」の質問に対し、括弧内の条件を「て形」にして今後の行動を答える練習。 ● 例題の確認 T: もうレポートを出しましたか。(もう一度読みます) S: いいえ、まだです。もう一度読んでから、出します。 ● 1)～4)の実施 Tが質問し、Sが括弧内の言葉を使って答える。 慣れてきたら、S同士のペアワーク (S1が質問、S2が応答) に展開する。	『みんなの日本語 本冊』p. 137 練習 B4 例: もう レポートを 出しましたか。(もう一度 読みます) → いいえ、まだです。もう一度 読んでから、出します。  1) もう 昼ごはんを 食べましたか。(この 仕事が終わります) → いいえ、まだです。この 仕事が終わってから 昼ごはんを 食べます  2) もう IMCに 電話しましたか。(メールを 送ります) → いいえ、まだです。メールを 送って から IMCに 電話します  3) もう 会議の 資料を コピーしましたか。(秘書さんに 見せます) → いいえ、まだです。秘書さんに 見せて から 会議の 資料を コピーします。  4) もう パワー電氣へ 行きましたか。(午後の 会議が 終わります) → いいえ、まだです。午後の 会議が 終わって から パワー電氣へ 行きます。 	【重要】動詞の補完 括弧内には前半の動作(～てから)しか書かれていないため、後半の動詞は質問文から引っ張ってくる必要があることを指導。 練習 B4は「質問文から後件の動詞を補って、完全な文として答えられるか」がポイントになるので、学習者が言葉に詰まったら、質問文の動詞を指さすなどのジェスチャーでアシストする。

4 分	まとめの確認 生徒のローテーションで男の子の「どようび」の一日を順番に繋いでいく。 7時に起きてから8時に犬の散歩に行きました。犬の散歩に行ってからランチを食べました。・・・ 今日は文型 2. の V1 て形から、V2（動作の前後関係）について学びました。 これで終わります。	どようび	「前件の動詞を正しく『て形』に変換できるか」と「過去の出来事でも前件は『て形』になることの理解」が肝。
-----	---	-------------	--